

## バンダイナムコエクスペリエンス 脱炭素社会に向けて年間約1万トンのCO2を削減

イオンモール株式会社、三井不動産株式会社と協働し、  
国内アミューズメント施設の使用電力のCO2排出量実質ゼロ化を推進

株式会社バンダイナムコエクスペリエンス(本社：東京都港区／社長：川崎寛)は、イオンモール株式会社(以下、イオンモール)、三井不動産株式会社(以下、三井不動産)と協働し、FIT非化石証書<sup>\*1</sup>によって国内アミューズメント施設より排出されるCO2の削減に取り組みます。

イオンモール



三井不動産



バンダイナムコグループ自社拠点(オフィス・自社工場・店舗・物流倉庫など)におけるCO2排出量の約70%を占めるアミューズメント事業においては、CO2排出量削減を目的に、再生可能エネルギーへの切り替えや業務用アミューズメントマシンの省電力化など、さまざまな削減施策に取り組んでいます。

このたび、2025年度よりイオンモール、また2026年度から三井不動産の協力のもと、両社施設内のアミューズメント施設から排出されるCO2削減を目的としたFIT非化石証書の提供を受けるとともに、弊社独自でもFIT非化石証書を調達します。本施策によって削減されるCO2排出量は年間約1万トンを見込んでおり、これは弊社が展開する国内のアミューズメント施設から排出されるCO2排出量の約28%<sup>\*2</sup>に相当します。

### ■FIT非化石証書購入量

イオンモール提供電力：約780万kWh(31店舗分)

三井不動産グループ提供電力(取次・仲介)：約400万kWh(21店舗分)

弊社独自購入分：1,000万kWh※2025年度購入実績(購入元：株式会社バイウィル)

### ■削減されるCO2排出量(見込)

約9,832～9,963t-CO2

排出係数(ロケーション基準):0.451～0.457kg-CO2/kWh<sup>\*3</sup>

※ニュースリリースの情報は発表時現在のものです。発表後予告なしに内容を変更、中止することがあります。※画像はイメージです。

## ■バンダイナムコグループの脱炭素社会に向けた取り組み

バンダイナムコグループでは気候変動への対応が持続可能な社会の実現と事業の継続的な発展に不可欠であると考え、脱炭素化社会に向けた中長期目標「自社拠点から排出されるCO2等の温室効果ガス(GHG)について2050年実質排出量ゼロ、および2030年50%削減(2019年度比)」を掲げています。

これからもバンダイナムコグループは、世界中のファンの皆さまとともに、脱炭素社会の実現、持続可能な社会の発展に向けて取り組んでまいります。

※1：FIT非化石証書：固定価格買取制度(FIT)によって買い取られた再生可能エネルギー電力の環境価値に対する証書

※2：2025年度における弊社国内アミューズメント施設から算出されるCO2排出量合計値をもとに算出

※3：参考：東京電力エナジーパートナー2025年度排出係数(実排出量)